

ブーケドロゼブルーの21



牡 2021年3月23日生 | 芦毛 | 栗東・新規開業厩舎 | 加野牧場生産

一口価格：19,800円 ※2023年保険料 634円 募集口数：500口【競走馬出資金総額 990万円】



POINT

まだ幼さを残しますが、全兄ブルーローズシップは冬を越えて成長したように、本馬も同じ成長曲線を描いて成長してくれるのではないのでしょうか。スラリと伸びた四肢、柔軟な筋肉を纏っており父と母の良いところを受け継いだ印象を受けます。闘争心旺盛で気の強そうな一面は父を彷彿させ、レースにおいても臆する事なく走ってくれそうです。ゴールドシップ×ローズインメイからはオックス馬を輩出し好相性の配合。父ゴールドシップ、伯父コスモバルクのように芝中長距離路線で活躍し、白く美しい芦毛の馬体をターフで輝かせます。

治郎丸敬之の馬体診断

この世代のゴールドシップ産駒は、特に牡馬に評判の高い馬が多く、もしかするとゴールドシップの黄金世代になるかもしれない勝手に考えています。これまでのゴールドシップ産駒の牡馬は、馬体が大きく出のですが、その分、全体的に重苦しく、脚さばきにも軽さが失われてしまい、動きが鈍くなってしまう傾向にありました。ゴールドシップ自身は競走馬として優秀でしたが、持ち前の筋肉量の多さやパワーを産駒たちが上手く生かしていないのが現状です。ブーケドロゼブルーの21は、重苦しさは全くなく、むしろスッキリとしすぎて心配になってしまうほど軽さを感じさせる馬体です。幼さを感じさせると言えばそのとおりですが、母ブーケドロゼブルーは牝馬としては立派な馬格で2勝を挙げた馬であり、父ゴールドシップも成長力に富んでいますから、このままで成長が止まる馬ではありません。全体的に筋肉がボリュームアップしながら、メリハリがついてくるはず。現在の馬体重を考えると、動きが鈍るのを心配するほどに大きくはならないでしょうから、もしかするとブーケドロゼブルーの21も軽さを備えたゴールドシップの黄金世代の1頭になるかもしれません。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。